

○3番（三林 浩君） 3番、三林です。よろしくお願いいたします。午後の一番手としてバトンをとすことのないよう、これから一般質問を行いますので、町長を初め行政の皆様にも一緒に考えていただき前向きな答弁よろしくお願いいたします。

私の一般質問は、スポーツ公園陸上競技場についての1本です。スポーツ公園陸上競技場は正式名ですが、町民体育祭の開催場所のところで、以後、質問の中では陸上競技場と呼びます。この陸上競技場の建設が始まったのは1990年、平成2年からで、バブル景気と呼ばれ1986年、昭和61年の12月から1991年、平成3年までの51カ月間に日本で起こった資産価格の上昇と好景気及びそれに付随して起こった社会現象の真っ最中に、本町も町として陸上競技場を建設し平成4年に工事を完成いたしました。総建設費は約27億円と聞いています。そのときは本町も同じように好景気で将来ビジョンに向けて陸上競技場を建設したと推測します。

そこで3つの質問をいたしますので、よろしくお願いいたします。

一つ、陸上競技場建設の経緯について。二つ、陸上競技場公認2種から3種に変更した経緯と理由について。三つ、現状を踏まえて今後の陸上競技場の活用方針について。

以上3点について答弁よろしくお願いいたします。

○議長（鷺田 昭男君） 小川増久教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（小川 増久君） 三林議員の「スポーツ公園陸上競技場について」のご質問にお答えいたします。

本町の陸上競技場は、平成4年に日本陸連の2種公認の競技場としてオープンし、桑員地域を中心とした広域的なスポーツ振興の拠点として位置付けまして建設いたしました。その後度重なるルール改定により5年ごとの「2種公認」の継続を維持するため、その都度、施設の改修や備品の買い替えなどをこれまで行ってまいりました。

近年の少子化や高齢化による競技人口の減少と維持管理経費が高額であることから、前回の平成24年の更新時期には、止むを得ず2種から3種へと公認を下げて今日に至っております。

昨年12月、議会全員協議会におきまして、本年10月に更新を迎える陸上競技場の3種の公認継続の申請を行わない旨のご説明をさせていただいたところでございます。その主な理由といたしましては、オープンから25年あまりが経過しており、競技場のウレタン舗装の傷みなどが激しく、日本陸連の方から今回の公認継続審査を受けるためには、トラックの全面改修が必要である旨の指摘をいただいております。そのための改修費用が約1億2,000万円と、本町だけでは余りにも財政的負担が大きく、今後更に厳しくなる町の財政を考えた場合、これ以上、公認を続けることは「選択すべきものではない」との結論に至りまして苦渋の決断をさせていただいたところでございます。

また、これらの費用以外に、維持管理費として毎年1,600万円ほどの財政負担も生じてまいります。そして公認の有無に関わらず、利用者の安全を考え今後も危険な箇所などにつきましては必要最小限の改修も行っていかなければなりません。

このように本町の陸上競技場は、オープンした当時と比べ現在の大変厳しい財政状況の中、

私どものような小さな町が単独で運営を行っていくには余りにも大きな施設だと考えております。今後は、陸上競技場だけではなく、町民プール、野球場、テニスコートを含めた「町スポーツ公園等」と一体で、更なる利用機会の拡大と効率的な維持管理に努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

○議長（鷺田 昭男君） 三林 浩議員。

○3番（三林 浩君） 答弁いただきました。再質問させていただきたいと思います。建設を決定した当時の将来ビジョンがあったと思うんですが、まずあったのかなかったのかということを確認したいと思うんですが、いかがでしょうか。

○議長（鷺田 昭男君） 小川増久教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（小川 増久君） 将来ビジョンと申しますと、目的というんですかね、もともとこの陸上競技場は、桑名市と旧桑名郡ですね、多度、長島、木曾岬町、そして昔の員弁郡ですが、5町の広域的な陸上をされる方の正式な公認の2種の競技場として建てられたということで、これまでこの陸上競技場のないときは、四日市とか伊勢の陸上競技場まで大会などの試合で行っていただいたということで、広域的な桑名地区の強い要望のもと、当時建てられたというふうに聞いております。

以上です。

○議長（鷺田 昭男君） 三林 浩議員。

○3番（三林 浩君） 最初の説明の中で、維持管理にも結構お金がかかっているという説明がありましたが、維持管理といえば継続して使用するための最小限の管理、すなわち使用頻度にあまり関係なくかかる経費だと思うのですが、平成17年から平成27年までの維持管理費に結構なばらつきがあるとなっていました。それはなぜでしょうか。

○議長（鷺田 昭男君） 小川増久教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（小川 増久君） 前回議員の皆様にお配りさせていただいた資料に基づいて、差が600万円ほどあるということなんですけれども、ちょっと細かい資料は私ちょっと今持ち合わせておりませんけれども、一般的に今言われたように光熱水費とか人件費等の一般的な経常経費の他に、当時自主事業でのイベントの経費を例えば見直したり、備品の購入費、あるいは修繕料が当時はかかっていたというふうに思っておるんですが、詳細については、担当課長の方より説明させていただきますので、よろしく願いいたします。

○議長（鷺田 昭男君） 石川 清社会教育課長。

○社会教育課長（石川 清君） 私の方から詳細について説明させていただきたいと思えます。

維持管理経費の多くを占める費用といたしまして、この陸上競技場では樹木の管理とか芝面の委託料があります。平成17年の芝管理委託料としては800万ほどかかっておりまして、平成27年は約260万ほどかかっております。今より400万以上高額であったということと、平成17年当時は、過去6回ほど実施しましたフルマラソンにかわりまして、町民が参加しやすいふれあいマラソンというのをやっております、その運営委託経費として約30万、

その他備品購入費として2種公認を継続するための費用ですが、砲丸とかやりとかハンマーといった備品の購入が約70万、これらを合わせると約600万ほどになりますので、この差が大きな違いだというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（鷺田 昭男君） 三林 浩議員。

○3番（三林 浩君） 今600万ぐらいの差とおっしゃいましたが、私が調べた中ではその期間での維持管理費が最大1,000万、平成23年度は、維持管理費が約1,300万、17年度のときが維持管理費が約2,300万、その間約1,000万の差があるんですが、その中で何が多いかというと、緑地の管理だとか委託料だったと思うんですが、それを合わせても1,000万にはならないんですけども、その1,000万というのは主にどういう理由でしょうか。

○議長（鷺田 昭男君） 小川増久教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（小川 増久君） 例えば27年度、28年度の維持管理費で申し上げますと、大体人件費から保守点検、あるいは様々な委託料、法定点検、そして光熱水費等で大体1,600万円程度は最低限維持管理していくにはそのお金が要ります。ただ、年度によって例えば施設の中の物が壊れたり、それに対する改修費用、修繕費用、あるいは先ほど課長の方も申し上げましたように、植栽の委託する部分を回数的に見直させていただいたり、回数を減らさせていただいたりして、当然年度ごとによって費用の増減というのは若干あるというふうに考えております。

以上です。

○議長（鷺田 昭男君） 三林 浩議員。

○3番（三林 浩君） そうしますと、私が先言いました維持管理費、維持管理とは何かということに関係するんですけども、今の説明ですと、改修工事、これも維持管理の中に含めての話ということなんでしょうか。

○議長（鷺田 昭男君） 小川増久教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（小川 増久君） 行政で私とこよく説明させていただくのは、工事費と修繕費は別というふうに考えてます。軽微なものについては修繕費、これは科目でいいますと、需用費で支出させていただいております。工事費については、また別計上ということで、先ほど申しました1,600万とか2,000万のうちには基本的に入ってません。工事費をこれまで前回は資料説明させていただいたんですが、年度ごとに随分金額も投資しております。ウレタンの舗装とかエアコンの改修工事、いろいろ計測器の改修、私もちょっとあれなんですけど、おおよそ1億ほどこれまで工事費だけで費用としては投入しておるといって、工事費は経常費には入っていないということで、以上でございます。

○議長（鷺田 昭男君） 三林 浩議員。

○3番（三林 浩君） またそのことについては後で再質問させていただきたいと思いますが、その維持管理なんですけども、安定した維持管理をするためには、今後何をどうしたら

いいかということが大事になってくると思うんですけども、その辺はどう考えていますでしょうか。

○議長（鷺田 昭男君） 小川増久教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（小川 増久君） 維持管理も年間最低1,600万は要ると、これから修繕も年数が経ってくれば少し直していかないかん、また備品等も買いかえていかないかんという状況の中で、このお金をどうするかということで、当然費用対効果という部分もあると思うんですけども、陸上競技場だけ考えるのではなくて、プールとか野球場等の施設がありますので、町のスポーツ公園一帯を一括して指定管理者制度の導入について、今後検討していく段階に入ってきているというふうに考えておまして、できるだけ少ない経費で最大限というか、利用者数を今後増やしていくとか、あるいは民間の我々行政にはない知恵というか、民間のノウハウとかアイデア等をお借りして利用者増、あるいは収入の増を図って行って、実際1,600万かかっているんですけども、陸上競技場だけで収入が200万か300万ぐらいしかなくて、完全に赤字状況になっておりますので、町スポーツ公園とか、あるいは町の中部公園ですね、そういうのと一体で何とか利活用して活性化を図っていきたいというふうに考えています。

以上です。

○議長（鷺田 昭男君） 三林 浩議員。

○3番（三林 浩君） 3種公認の公認時期というのは、先ほども説明ありましたように、今年の10月ですが、平成28年12月のときに行政の方から更新しない旨の説明がありました。その理由として、先ほども説明がありましており、3種公認をするに当たりトラックレーン等のウレタンゴムですね、これを全面改修しなければならないということで、金額として約1億2,000万が本町単費でやりくりするには財政が非常に厳しい中、難しいと判断したためと聞いております。

そこで伺いたいんですが、本町単費でやりくりするのが無理なのか、それとも工事費の約1億2,000万が無理なのかどちらなんでしょうか。

○議長（鷺田 昭男君） 小川増久教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（小川 増久君） ちょっと済みません。質問の趣旨がわからないんですけども、先ほども申し上げましたように、今後の東員町の将来的なこと、少子化あるいは高齢化、財政も厳しくなってくる上で、陸上競技場があればそれはそれにこしたことはないんですけども、それ以外の義務的経費とか保険料、いろいろ福祉的な費用とかですね、そういうのもあって長期的に考えた場合に、優先順位的には、そのために1億2,000万出すというのは大変厳しいような状況です。例えば教育委員会一つとっても近いうちに一中の例えば移転とかいう問題も現実的に検討していくべきでありますし、また子どもをこれから育てていくという意味では、教育委員会の事務局においてもやっぱり中学校の移転費用を何とか捻出していかないかんという段階で、陸上競技場を改修する費用はだめだということではないんですけども、ちょっと優先順位的には改めて検討させていただいたという経緯でございます。

以上です。

○議長（鷺田 昭男君） 三林 浩議員。

○3番（三林 浩君） 恐らく町単費でやるのも、すぐに1億2,000万を使わなければならない、両方が無理ということで今回判断というか、そういう趣旨の説明をされたんだと思うんですが、確かに町単費でというのは私も非常に厳しいかなというふうに思っております。ただ、工事費の1億2,000万なんですけど、よく考えてみますと、今注目されているのは、公認3種を取り消すということの公認に注目を浴びてるんですけども、更新に関係なく安全・安心、利用する人たちにとっては遅かれ早かれ、ウレタンゴムですかね、かなり疲労してきて、滑ったりだとかいう危険性があるということだと思んですけども、そういう意味では、いつかは直さなければいけない。陸上競技場がある限り直さなければならないということになると思ってますね、そうすれば1億2,000万というのはどっちにしたって必要な金額だと思うんです。そういう意味で先ほどちょっと質問させていただいたんです。

それで質問なんですけど、今回公認を中止しまして、長い年月をかけてレーンの改修工事を終了しましたと、その後に公認を再度更新することというか、申請することはできるんでしょうか。

○議長（鷺田 昭男君） 小川増久教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（小川 増久君） 日本陸連の方に事前に確認させていただいてるんですが、必ずしも継続していかなければならない、続けなければならないということではなくて、ちょっと公認申請の費用が改めてするときと引き続いて継続していく場合、若干の公認料というんか、それぐらいの違いがあつて、何らかの事情で3種の公認を一旦やめて取るという場合は、当然それなりの費用とか整備はしていかなきゃなりませんけども、それは可能というふうに聞いております。

以上です。

○議長（鷺田 昭男君） 三林 浩議員。

○3番（三林 浩君） そうであれば、レーンの改修工事が終了する時期に合わせて、また公認を取るということは考えられると思うんですが、いかがなものでしょうか。

○議長（鷺田 昭男君） 小川増久教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（小川 増久君） お答えさせていただきます。

今ご指摘いただいたように、また改めて取るということも可能でありますし、ただレーンも1レーン、2レーンについては、オープンしてから10年ほどして平成14、15年に、そこだけは一度直させていただいているという状況で、それ以外は、できてから一度も直っていないということで、公認を受けるためには絶対次回は直してくださいというような条件というか、ご指摘いただいておりますので、そのあたりを検討して今回は、3種は公認を受けないという結論に至りましたので、よろしくお願ひします。

○議長（鷺田 昭男君） 三林 浩議員。

○3番（三林 浩君） くだいようですけど、そうしますと、その工事が終わった後の再

公認の申請ということは、今後考えていただけるという理解でよろしいでしょうか。

○議長（鷺田 昭男君） 岡野譲治教育長。

○教育長（岡野 譲治君） 局長がずっと答えさせていただきましたが、公認することに関しては、公認すればレーン全面舗装せいという指示がありまして、それはできません。私どもの今お話をさせていただくのは、今のまんまで使ってくださいと、危ないところは部分舗装しますと、将来ずっと来たときに、それを全面舗装するかというと、今のところそれはありません。使用をやめてもらいます。そういう感じで、私どもは現段階ではおります。

以上です。

○議長（鷺田 昭男君） 三林 浩議員。

○3番（三林 浩君） 答弁いただきました。確かに陸上競技場を利用しているのは本町の方だけではなくて、先ほど部長が言ったように、近隣の桑名市、いなべ市の皆さんの多くが利用しているのが現状です。私もこの点については、平等性からしても統制がとれていないように思います。また、桑員陸上競技協会というものがあり、そこには桑名市、いなべ市の方が役員を務めていることもありますので、私は2市1町で共同運営をするのが好ましいと思いますが、いかがなものでしょうか。

○議長（鷺田 昭男君） 小川増久教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（小川 増久君） 私も先ほど申し上げておりますように、単独で維持、運営していくのは3種していくのは難しいということでございまして、できれば今、議員がご指摘いただいたように、近隣市町の支援をいただければそれはまた別の話になってくるかもわかりません。それはまだ正式な話は私ども教育委員会の方はいただいておりませんので、仮定の話には、ちょっとお答えさせていただくのは控えさせていただきたいと思います。

以上です。

○議長（鷺田 昭男君） 三林 浩議員。

○3番（三林 浩君） 行政が言ってることは、私たちも含めて頭の中では理解できるんですけども、正直、素直に受け入れることができないのが町民の思いなんです。目に見えて継続するための策をどうやって行ってきたのか、その辺を説明いただければと思いますが。

○議長（鷺田 昭男君） 水谷俊郎町長。

○町長（水谷 俊郎君） ちょっと財政のこともかかわりますので、私からお答えさせていただきますが、そもそも平成4年にこの陸上競技場ができて25年、25年間桑員地区全体の人のために東員町の2万5,000人の方の税金をつぎ込んで、東員町単独でこれを担ってきたということは僕は過剰だと思うんです。しかし、この25年間、東員町の皆さんが理解をして、それをやり続けてきたんです。これ以上この財政的に非常に厳しい時代になってきたときに、これ以上は続けられない。ですから、桑名市であれ木曾岬町であれ、いなべ市であれ、みんながこの陸上競技場を自分たちの陸上競技場なんだとして、みんなでこれを維持管理していこう、公認を守っていこうと言われるなら、これは可能だというふうに思いますが、これからまだ東員町単独で桑員地区全体のためにやれということであると、これは絶対に無理です。

絶対がつきます。絶対に無理です。これは多分、東員町民の方の理解を得られないと思います。ということで公認はやめようということになりました。ご理解いただけますでしょうか。

○議長（鷺田 昭男君） 三林 浩議員。

○3番（三林 浩君） 最後に町長の意向を尋ねようと思ったんですけど、先言われましたので聞くことはないんですが、さっきも言いましたように、頭では理解してます。数字も教えていただけてますし、収入も少ない割には維持管理費が高いとか金額が大きいと。公認を続けるに当たっては改善修理工事も莫大な金額がかかってくるというのを理解できますので、当然その数字からすると、このままでは東員町だけでは無理だな、これは確かにわかってる。ただ、今、町長熱弁されましたけど、私らにはその熱弁のもっと具体的な策とっていいんですか、結論は今おっしゃったと思うんですけども、それに至るまで、じゃどういう行動されたのかなというところら辺が正直、私たちには見えてこなかったと。今そういうふうにおっしゃっていただいたことは非常にありがたいんですけども、結果は同じでも、ただ財政が厳しいという理由だけでなく、目に見えた努力があれば、町長が言ったように説得できますし、また私たちが納得するはずです。

逆に考えれば、町長答え言ってくれましたけども、東員町だけで出すんじゃなくて、何らかの形で資金が賄えば継続可能になるという理解になると思うんですよね、町長の答弁からしますと。そういう意味では、提案なんですけど、問題点はやはり町単費で賄っていくというのは非常に難しいよということで問題ははっきりしてるはずなんです。だから問題がはっきりしてるんであれば、どうしたらそれが解消されるかということ考えた場合に、私が考えた提案としましては、今言われたように、桑員陸上競技協会に打診してみる。東員町だけじゃなくて、未来のビジョンにもあったように北勢地域を拠点とする陸上競技場を建設されたということをおっしゃってたいということもありますので、やはりそれは桑員で守っていくということを根強く東員町からも行動に移して行うべきだと私は思いますし、また、それ以外では、東員町も桑名市もいなべ市にも大手の企業があると思います。サッカーでもそうですけども、スポンサーをつけまして、スポンサーに資金繰りを調達していただく。その調達をしていただくかわりに、企業の宣伝という形で競技場にその企業の名前を掲げたポスターなり看板なりを取りつけてやっていくという方法も私はあるんじゃないかなというふうに思っておりますので、あくまで基本精神というのは、利用者が安心・安全に一人でも多くの方が活用でき、東員町の活性化に繋げていくことだと私は思っていますので、その旨で本当は最後に町長の意向を確認したかったんです。もう言われましたけど、再度もう一度お願いいたします。

○議長（鷺田 昭男君） 水谷俊郎町長。

○町長（水谷 俊郎君） 何もしてこなかったんではなくて、25年という長い間、東員町が要するに東員町民が10倍の人口の面倒を見てきたわけですよ。これはすごい努力だというふうに思ってます。そして、これ私真偽のほどはわからないんですが、県にも他の市町にもこの陸上競技場一緒に維持管理やってくれんかという話をだれか知りませんが、したように真偽のほどはわかりません。ちょっと聞いたんですけど、それはもうあまりいい返事がいただけ

てないと聞いてます。そういう状況の中で、東員町で東員町立の陸上競技場で東員町内にあるものを、もう一回あんなのとこちょっと一緒にやってくれんと言っても、なかなかこちらからお願いに行けない状況にあると思ってます。もう一つ言うなら、私はお願いに行く筋合いのものでもないと思ってます。本当に必要なら、他のところがですよ、本当に必要なら、向こうからこれ何とか公認を継続してくれ、こっちも費用出すからというようなことを言っていただくのが筋ではないかなと思うんですが、そういうことは、今まで否定されてきたであろうと思われるので、無理なのかなというふうに思ってます。実は桑員陸連の方がこの間来ていただきました。私今ここでお話しした趣旨のことをお話し申し上げましたので、その方たちがどうされるかということは、私は計り知れませんが、一応そういう同じ趣旨のことは申し上げました。どうなるのか、実際に10月に更新ですよということも申し上げてありますので、その中でどうなっていくのかということをお我々は単独であるならば更新はしないということなんです、絶対しないということではありませんので、状況によってはまた考えることができるというふうに思ってます。

○議長（鷺田 昭男君） 三林 浩議員。

○3番（三林 浩君） 答弁いただきました。そういう意味では、私たち議員も初め、利用している町民も初め、ともに考え、ともに苦しんで結論を出していきたいと思ってますので、これから前向きな検討よろしく願いいたします。

これで私の一般質問を終わります。